サーキュラー・イノベーション・フォーラム2021

Circular Innovation Forum2021

東京都では、CO2実質ゼロの持続可能なプラスチック利用の姿を2050年までに実現することを目指し、リユース等により使い捨てプラスチックの大幅削減を図るビジネスモデルや、水平リサイクル等の革新的なリサイクル技術の実装化に向けて企業グループと共同して取組を進めています。

サーキュラーエコノミーに向けた取組は欧州でも活発化しています。この度、東京都は駐日欧州連合代表部と連携して、「サーキュラー・イノベーション・フォーラム2021」を開催します。国内外の最新のビジネス動向に触れるチャンスです。ぜひご参加下さい。

【概要】

開催日時：2021年11月26日（金）　16:50-20:00（日本時間）

開催方法：オンライン（zoom）YouTube同時配信

※第三部の「オンライン展示会」はYou Tube Liveではご参加いただけません。

参加者　：企業関係者、NGO等　1,000人

申込方法：以下URLからお申し込みください。（先着順）

（日本語）https://ws.formzu.net/dist/S68044481/

（英　語）https://ws.formzu.net/fgen/S63818277/

登壇者紹介

第一部：オープニングセッション　16:50-17:30

【オープニングスピーチ】

東京都知事　小池百合子

駐日欧州連合特命全権大使　パトリシア・フロア　氏

1961年ドイツ生まれ。エアランゲン・ニュルンベルク大学で修士号、博士号及びハーバード大学で行政修士号取得。2019年には広島大学より名誉博士号を授与される。ジャーナリストとして活躍後、1992年独外務省に入省。国連独政府代表部、駐ジョージア独大使、独外務省東欧・コーカサス・中央アジア局長、独外務省国連・地球規模問題総局長、軍縮・軍備管理担当代表、中央アジア担当EU特別代表などを歴任。2018年秋より、駐日EU代表部代表および駐日EU大使。

【基調講演】　アムステルダム市副市長　マリーケ・ファン・ドオルニンク　氏

2018年から都市計画と持続可能性分野の副市長。彼女のリーダーシップの下、アムステルダム市は2020年から2025年までの循環戦略とアムステルダム市の「ドーナツ」都市計画を採用した。

東京都環境局　協力：駐日欧州連合代表部、日欧産業協力センター

第二部：専門家及び産業界のリーダーによる討論　17:30-19:00

東京大学名誉教授　安井　至　氏

国際連合大学名誉副学長、東京大学名誉教授．元独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)理事長。専門は無機材料化学、環境科学（環境総合評価、ライフサイクルアセスメント）。

自身のHP「市民のための環境学ガイド」は一日3,000アクセスを越える人気サイトだったが、現在もFacebookグループ「環境学ガイド」で発信を続けている。

主な著書に「環境と健康 ―誤解・常識・非常識―」、「続・環境と健康 ―誤解・常識・非常識―」、「丸善ライブラリー276 市民のための環境学入門」「リサイクルの百科事典（編集委員長）」、「リサイクル ―回るカラクリ止まる理由（わけ）―」など。

クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス（CLOMA）会長　澤田 道隆　氏 (花王㈱会長)

1981 年、大阪大学大学院工学研究科プロセス工学専攻修士（博士前期）課程修了。同年、花王石鹸株式会社（現花王株式会社）に入社。

素材開発研究所室長を経て、2003 年サニタリー研究所長に着任。2006 年執行役員に就任。2008 年取締役に就任。2012 年6 月28 日代表取締役社長執行役員に就任。2021 年1 月1 日取締役会長に就任。

一般社団法人日本化学工業協会理事、一般社団法人日本衛生材料工業連合会会長、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会代表理事理事長、日本経済団体連合会生活サービス委員長、クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス（CLOMA）会長を務める。

㈱セブン&アイ・ホールディングス　執行役員　釣流 まゆみ　氏

経営推進本部　サステナビリティ推進部
シニアオフィサー
・津田塾大学国際関係学科卒業
・(株)西武百貨店入社（現(株)そごう・西武）。
・池袋本店婦人雑貨部、販売促進部、等を経た後、営業部門へ。執行役員顧客サービス部長、執行役員池袋本店副店長、執行役員所沢店店長、執行役員東戸塚店店長、執行役員文化プロモーション部長。
・2019年3月より(株)セブン＆アイ・ホールディングスへ。
グループ環境宣言「GREEN CHALLENGE 2050」の達成を推進。

Ingkaグループ持続可能性 ポリシー・ストラテジー 持続可能性リーダー　パー・ストルツ氏

購買、商品開発、持続可能性などIKEAの様々な分野で23年以上の経験を持つ。IKEAのサーキュラービジネスへの移行に関する小売部門で7年間の経験がある。

Petcore Europe　専務理事　クリスチャン・クレペ　氏

同団体の前会計係、PET WGの副代表、副委員長、HDPE/PP WG of PRE (Plastics Recyclers Europe)の委員長及び創設者。HECの証書を所有しており、DOW CHEMICALとENI CHERMの商業及び執行分野でのバックグラウンドあり。PETCORE EUROPEの運営を担うまでは23年間マネージメントの経験あり。

第三部：オンライン展示会　19:00-20:00

NISSHA株式会社/NECソリューションイノベータ株式会社
　繰り返し使える容器のシェアリングサービス「Re&Go cup」を人口の多い都心部で展開することで、テイクアウトでの使い捨て容器の削減を目指すビジネスモデルの実証事業を実施しています。

ユニリーバ・ジャパン
　「みんなでボトルリサイクルプロジェクト」にて、花王株式会社と協働して、ボトルtoボトルを目指した自主回収・再資源化の実証事業を実施しています。都内に設置した回収ボックスで消費者から日用品容器を回収し、回収された容器を選別・洗浄・破砕し、再度日用品容器に水平リサイクルする検証を進めています。

Loop Japan 合同会社
　ループ・ジャパンは、循環型ショッピングプラットフォーム Loop を日本で展開するソーシャルエンタープライズ。使い捨て容器で販売されていた製品をリユース可能な容器で販売し、使用後に容器を回収、洗浄したうえで製品の再充填を行い再び販売しています。

レコテック株式会社
　商業施設由来のプラスチック資源をプラットフォーム “POOL” によって見える化することで持続可能なコストで再生し、品質、調達量、トレーサビリティの情報の取れたリサイクルチェーン構築に向けた実証事業を実施しています。

MIWA
　MIWAは、乾燥した液体物の商品用のスマートな再利用可能な容器包装の解決策であり、それは生産者から卸売業者、小売業者に至る全てのサプライチェーンにおいて、容器包装の廃棄物を大幅に減らす総合的なハード・ソフトの解決策です。

MultiCycle
　欧州の複数企業が参加するプロジェクト。プラスチックの複層パッケージや繊維強化プラスチックを、新しい溶剤をベースにした抽出手法で、プラスチックと添加剤を回収・リサイクルする産業用パイロットプラント建設に取り組んでいます。

土帰 doki Earth
　dokidoki ベジボックスという地元の有機野菜を宅配して、帰りに生ごみを回収する循環型の野菜ボックスのサービスを提供しています。全ての製品は生物的循環の中に収まっており、分解可能な包装と生ごみは堆肥化し、提携農家の畑に戻り新しい野菜が作られます。私たちは全ての工程とサービスにおいてプラスチックは使用しないことを目指しています。

株式会社ローソン
　ローソングループは「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」を理念とし、マチを「地球」と表記することがあります。今回は、2Rを中心とした取り組みを紹介します。（コーヒータンブラー割引、おでん鍋割、ナチュラルローソンの量り売りなど）

三菱ケミカル株式会社
　三菱ケミカルは、原料調達から製品製造、使用、廃棄までのライフサイクル全体で資源の使用量と廃棄物の発生量の最小化をバリューチェーンパートナーとともに目指し、サーキュラーエコノミーの実現に貢献してまいります。

全国清涼飲料連合会
　清涼飲料水製造企業の会員ならびに関連する業界の賛助会員で構成。
使用済みペットボトルをペットボトルとして再生利用する水平リサイクルを推進するため、東京都と連携して「ボトルtoボトル東京プロジェクト」を実施しています。